



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』

1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』

1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会 回卓話「ロータリー創立記念日に思うこと」

2月27日第549回例会

第2580地区パストガバナー
東京北ロータリークラブ

加美山 節氏

◎先週報告

2月20日第548回例会
18:00～20:00

回夜間例会／レディス・デー

回会長報告 千代田分区IMへ多数の会員のご出席、ありがとうございました。

回親睦活動委員会報告（高須委員長）

3月度火曜会を3月3日（火）PM5:30～全日空ホテル37Fアストラルにて開催します。新しい友情が深まる日でもあります。新しい会員の方々も是非ご参加下さいませお願いいたします。パネラー新保國彦会員（96～97年度親睦活動副委員長） テーマ「人との触れ合い」

回社会奉仕委員会報告（吉田委員長） 書き損じ葉書ご提供のお願い

現時点で（2/20）集まったハガキは約100枚なので当クラブとして700枚を目標としたい。2月の最終例会迄にお手数ですが例会場にお持ちいただくか、事務局へ郵送して下さい。

回出席報告●会員72名／出席45名・欠席27名、出席規定免除者1名、1月修正出席率87.72%

ご家族（11名・敬称略）馬場鈴子、平井恵子、伊部千歳、石坂雅子、開発利子、小澁久美子、宮武洋子、佐藤悌子、柴田利栄子、新保寧子、立林清美

◆世界理解月間にちなんで 『平和な都市づくりの推進』

国際奉仕委員長 関 征春

RI理事会は「平和な都市づくり」を第4番目の強調事項としました。（三つの強調事項は①「識字率の向上」②「薬物およびアルコール濫用防止」③「家族への献身」です。）

キンロスRI会長から世界中のロータリー・クラブに対し、それぞれの地域社会において平和を築くために新たな挑戦事項に応えるようメッセージが届いております。

その内容は、平和プロジェクトを実施するに当たって皆さんをはじめ各クラブの会員の方々のお役に立つように平和な都市づくりの強調事項に関する活動範囲が説明され、各地域社会の特定のニーズを見極めるに当たって皆さんの参考となる実践的な方法が記載されております。メッセージの一部を紹介します。

平和な都市づくりー

安全な地域社会は、みんなの関心事です

私たちが、暴力や犯罪への恐怖から解放された生活、全ての地域社会にて、どこかに所属しているという安心感と安全性を享受すること…これらは、市民の権利です。世界中の家庭にとっての緊急のニーズです。

1996～97年度中、ロータリーは、これらの重要な問題に焦点を向けました。RIは、7つの平和な都市づくり会議を主催し、6,000以上の新世代のためのロータリー会議を開催しました。世界中のロータリアンは、自分たちが周囲の人々や隣人達の生活に影響を与えることができるという認識に力づけられて、献身の気持ちを新たにそれぞれの地域社会へ戻りました。会議への応答は多大なものでしたが、ニーズは、それ以上に大きなものです。

この点を認識し、RI理事会は、平和な都市づくりを、3年間の間、強調事項とすることを承認しました。これは、社会奉仕の中心的面として、全ロータリー組織の資源を集中させることを意図するものです。ロータリアンとロータリー・クラブが次のステップを踏んで、地域社会を脅かす諸問題に対処する行動の計画を練ることが極めて大切です。

西暦2000年までには、世界の人口の50%以上が、都会や都会の郊外に住むようになり、その都市の多くは、

1,000万人以上の人口を持つ大都市であると、国連は予測しています。ますます共有度が増している資源の近くに住むことから生じるチャレンジが人々の間の緊張を高めることは疑いありません。

その結果起こる問題は、現在、都会では既に明らかですが、大都会から離れた場所の地域社会にも、驚くべき頻度で広まっています。かつては大都会の腐敗と貧困に関連付けられていた諸問題が、今や、大小様々な地域社会の全ての層において見つけられるのです。

◆薬物・アルコール濫用の弊害 ◆ギャングや地域社会における暴力の蔓延 ◆ホームレスの増加 ◆10代の女性の妊娠

これらの問題や、その他の問題は、私たちの地域社会を脅かすものであり、地域社会の中で平和な都市づくりのためにロータリアンが努力しなければならないというニーズを強調しています。原因は、たくさんあります。

◆失業／雇用不能 ◆飢餓／貧困 ◆家庭の意義の崩壊 ◆家庭内暴力 ◆識字・計算能力の欠如 ◆都会内の物理的および構造的腐敗

「私たちの地域社会でなすべき奉仕を見つけ出すために、ロータリアンは、何と素晴らしい特権を持っていることでしょう。これが、世界中のロータリーの強さです。」

ー1972年～73年度R.I会長ロイ・D・ヒックマン

地域社会の調査

新世代のための会議から学んだ教訓のひとつは、助けようとしている相手である人々の言い分を聞き、その人々に直接関わることの重要性でした。

それぞれの地域社会はユニークです。ロータリアンは、問題と優先事項を見極めるために、地元で地域社会の調査をすることが必要です。

私たちの目標を達成するために、下記のグループに連絡をとり、協力の方法を探りましょう。

◆学校 ◆市政府の役人 ◆社会奉仕機関 ◆青少年組織 ◆警察 ◆他の奉仕団体

さらに詳しい情報は、以下の人々に連絡してください：

◆地区ガバナー ◆地区社会奉仕委員会委員長

回「夜間例会／レディス・デー」

2月20日第548回例会

卓話「筆跡と人間性」

日本筆跡診断士協会会長
相藝会書道教育学院院長

森岡 恒舟 氏



森岡 恒舟 氏

「字の書き方でその人の人間性がわかる」あるいは「字の書き方を変えるとその人の性格、行動傾向がわかる」と聞いて最初はびっくりし、占いの類かと思っておりましたが、氏は独自の研究にて「筆相学」を体系完成させ、筆跡を心理学的に分析し、人間の性格、行動などを判断する科学的な筆跡心理学を開拓してきました。フランスでは筆跡診断士をグラフィックと云い、難関の国家資格となっています。その仕事内容は、企業の採用試験の際、履歴書の筆跡を診断して、応募者の性格や適性のデータを経営者に提供する。あるいはコンサルタントやケースワーカーのような立場で、子供の進学や就職の際に、その適性を診断したり、希望の進路に進めるよう筆跡改善のアドバイスを、といったもので、幅広い分野で活躍しています。氏は書道学院の経営と指導に当たりながら20数年間、筆跡の研究に専念してきました。そして氏独自の理論体系を築き上げてきましたが、その途中でフランスにも同様の学問があることを知り、一層自信を深めたとのことでした。

氏は東京大学で形態心理学を専攻していました。形態心理学というのは、物の形が人間の心にどういう影響を及ぼしているかということを研究する学問です。物の形というのは、ただ単に見えているだけではなく、それは人間の深層心理に色々な影響を与えています。逆に考えると、ある人が無意識に造り出した物の形を見て、それを作った人はどういう人間なのか、どういう心理状態にあるのかを分析することができることになります。そういう特殊な心理学の分野で長年研究していました。

今から20数年前になりますが、あるきっかけから専門の書家や書道塾の先生を育てるための学校、いわば書道の大学の設立に参加することになりました。そこでは氏

も教師として指導に当たっていたのですが、氏の関心はもっぱら書道の芸術性よりは、形態を中心とした書道理論の方にあったわけですね。字を書くという作業は自分の手で、ある形を作り上げることを意味します。ところが、今まで書いていた字の形を変えることが、どれほど大変なことかその時痛感しました。例えば「大」という字の縦線をグンと上に「突き出すように書け」といってもなかなか書けません。鑑真大和上の手本をみせて書かせても、どうしても突出して書くことができない生徒がいたのです。それはなぜか、ということを考えてみると、その人の性格に現われる深層心理による、ということがわかってきました。

「大」という字の横線は、ある水準、例えば「世間並み」を表わします。その縦線はその水準から飛び出すことを意味します。それがグンと長く飛び出す人は、群衆の中から一人壇上にあがって演説をブツことが得意、というところにつながるころがあります。

ではどうすれば、深層心理を変えることができるのでしょうか。「大」の字の頭部を突出して書けない人は、どうすれば楽に書けるようになるのでしょうか？まず、本人がそれを書けない理由、自分の深層心理を知ること、つまり自覚が必要なのです。自覚して初めて、それを直す努力をすることができるのです。そして突出した字を楽に書けるようになった頃には深層心理が変わりリーダーシップを身に付けることができるようになっていきます。言葉ではなく、字を書くという日常の行動習慣の中で深層心理が変わってゆくのです。

「口」、「様」という字を参加者がそれぞれ書かれ、この字を中心に、「口」の字の上下は開いているか、閉まっているか、「様」はへんとつくりの間が広い狭いか、木の頭部が突出しているかどうか、ふつう伸びがない線が伸びていて他の線を横切っていないか、さまざまな観点から筆跡と深層心理の関係についての内容は、科学的で興味深いものでした。(まとめ入沢)

ニコニコBOX

2月20日/10件 29,000円
97～98年度累計 1,643,432円
多額のご寄付を有難うございます。
(順不同、敬称略)

入沢頼二／森岡先生本日のご講演ありがとうございました。武下 朗／11名の奥様方のご出席ありがとうございました。岩瀬秀郎／奥様方よろこそ、私は淋しく一人です。宮武保義／今年始めての夜間例会を楽しみにしていました。平井逸夫／一日毎に春らしい暖かさが感じられます。水原信太郎／初めての夜間例会出席です。小笠雅亮／悪い風邪が流行っています。お体を大切に。佐々木忠行／島田さんの初ニコニコに敬意を表して。山下忠治／沖さん、ご本、有難うございます。島田さんニコニコご苦労さまでした。島田昌雄／はじめてのニコニコ担当です。どうなるかと心配しましたが皆さんの協力に感謝します。

98年2月定例理事会議事録

日時 98年2月6日(金) 例会後 13:40～14:50
場所 東京全日空ホテル 1F 孔雀の間
出席者 武下、伊部、河原、宮武、関、高須、山下、吉田、梶内、田辺、渡部(敬称略・順不同)

決議事項

1. 退会希望の件／坂本實君
一身上の都合により同君の退会を97年12月31日付けで承認。
2. 次年度(98～99年度)地区役員(会計監査)に山下忠治君を推薦。
3. 地区大会選挙人(代議員)に武下朗会長、山下忠治副会長、渡部一元幹事を選出。

4. クラブフォーラム(3/13)のテーマ「クラブの自主性とRIの管理」を承認。
5. 忘年家族会収支を承認。
6. 千代田分区分選ゴルフ会参加費(70,000円)は予備費より支出することを承認。
7. 3月のプログラムを承認。

報告事項

1. 会長報告／地区会長会(2/4)出席報告
2. 幹事報告／①分区分幹事連絡会(2/3)出席報告
②千代田分区分IM登録者／54名、懇親パーティ／21名
3. 親睦活動委員会報告／打ち上げ会(6/29)開催

◎次週予告

3月6日第550回例会

回卓話予定 イニシエーション スピーチ 「不憂、不惑、不懼」

当クラブ会員

メディア・ワールドCo., LTD代表取締役 水原 信太郎 君

〈会報委員〉

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、
田中 武、小杉 真史、川鍋 二郎、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士
(編集担当順)

東京新南ロータリークラブ

会長：武下 朗 副会長：山下忠治 幹事：渡部一元

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111